

尿検査のお知らせ

○提出日：5月19日（金）

検査のために配布するもの

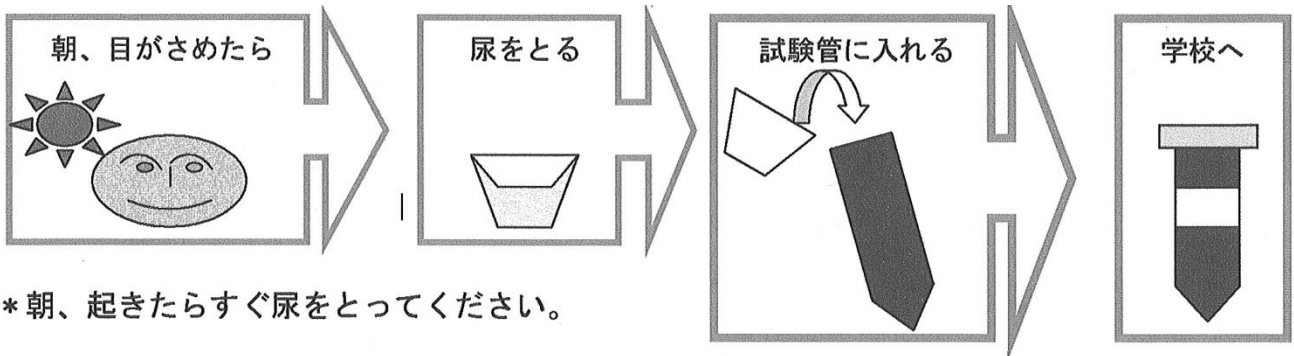
- ①尿をとるためのコップ ②試験管 ③氏名シール
※試験管とコップを夜のうちにトイレにおいておくといいかもできません。

尿検査の目的

腎臓のはたらきと腎臓病や糖尿病などの病気にかかっていないかを調べます
体を巡る血液は、途中、腎臓を通過していらぬものを取り除いてもらいます。腎臓に残ったいらぬものが水分といっしょに排泄されるのが「尿」です。

腎臓の働きに異常が起これると、ふつうは尿にならない成分（たんぱく・糖・血液など）がいっしょに混じって出てきます。尿を調べることで、治療が必要な腎臓病・糖尿病などの病気にかかっていないかどうかを知ることができます。

尿の採り方



*朝、起きたらすぐ尿をとってください。

採尿時の注意

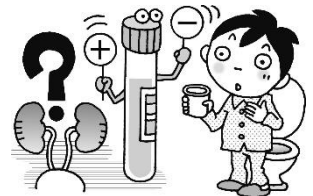
- ① 朝起きてすぐの尿をとる。
- ② 試験管の半分以上入れる。
- ③ ふたをしっかりとめる。
- ④ 氏名シールをはる。

2次検査について

1 回目の検査で陽性であっても病気とは限りません。もう1回検査を行います。その場合は個別にお知らせします。2 回とも陽性になった場合は精密検査のお知らせをします。

前日の注意

- ① 前日は、はげしい運動をさける。
- ② お菓子やジュース類、塩辛いものを取りすぎないようにする。
- ③ 寝る前に必ずトイレに行く。



色・におい・量で体調がわかる 尿は健康状態を知らせてくれる身近なメッセンジャー

【尿が赤い】 → 尿の中に血液が混じっています。尿路の出血や腎臓の病気が疑われます。

【尿が褐色】 → 高熱や脱水症状のときその他、肝臓の病気や胆道の病気が疑われます。

【尿にごる】 → 腎臓やぼうこうなど泌尿器系の臓器が、細菌に感染しているときにみられます。

【尿が黄色・オレンジ色】 → ビタミン剤を飲んでると尿の色が変わりやすくなります。

【尿が少ししか出ないのに、すぐトイレに行きたくなる】 → ぼうこう炎・尿道炎の代表的症状。